

さあ、またビールを飲もう

もう一つは「ブラック・シャンティ・ガフ」。黒ビールのジンジャー  
エール割り！甘いようでも苦みもきいた大人のビア・カクテルです。  
苦みは食事と合わせて、味に深みを出す大切な要素。ぜひ、この  
夏はビールの美味しさを再発見してください！

トスターの生ビールは「泡までおい  
しい」。その秘密は、注ぎ口がふた  
くちに別れたビールサーバー！美  
味しいフロスティ・ミストができる注ぎ口が  
専用にあるのです。泡の消えないうちにおい  
しく飲みきるのが、眞のビール党。

リトスターだわりのビア・カクテルもこの夏、  
新作が登場します！

まずは「ミックスサワー・ビール」。当店自慢  
のミックスフルーツ酢をビール  
で割ると…あら不思議。飲みや  
すいビア・カクテルに、甘みが  
ビールを飲みやすく、酸味が後  
味を爽やかに演出します。

もう一つは「ブラック・シャンティ・ガフ」。黒ビールのジンジャー  
エール割り！甘いようでも苦みもきいた大人のビア・カクテルです。  
苦みは食事と合わせて、味に深みを出す大切な要素。ぜひ、この  
夏はビールの美味しさを再発見してください！

# 新聞ごはん

第98号

2012年7月

発行者

リトル・スター・レストラン



「毎月新聞ごはん」は、  
リトル・スター・レストランが  
発行している新聞です。



## 小星★人語

お店のスタッフから、夏のビール  
の時期に衝動買いや無駄遣いを  
してしまう…どうしたらいいですか？という質問。それを半年も  
年後も使うか？と考えて、それ  
使うか？三年後も使うか？十  
年後も使うか？と考えて、それ  
でも欲しければ買つてもよい」と答えました  
「そうは答えたものの、ワタクシの場合、洋  
服ならその方法で衝動買いを抑えられるので、  
が、いくつかのものについては、たくさん  
あるのにまだ欲しくなってしまいます▼ます  
はバック、鞄の類。たいしてファションにござ  
わりもないのだから「いいものを」と持つ  
てればよいはずなのに、なぜか素材や形や色  
が変えて、いろいろ欲しくなってしまいます。  
これは「十年好きでいられそうなもの」しか  
買わないと決めました▼次に、器。これは料  
理の数だけ器があつてもいいくらい、あれば  
あるほど楽しい世界…職業柄かこればかりは、  
いくらあっても困りません。でも収納にも限  
りがありますから、これからは「一生も  
ん」を選びいきたい！▼最後に、本。  
好奇心旺盛、知識に貪欲と言えば聞  
こえがいいけど、単に読書癖が活字  
中毒か。小説からルボルタージュ、  
実用書に至るまで、興味を持つたら  
すぐに手に入れたくなる本の数々。  
読むのが追いつかず「積ん読」になる  
ものも多々あれ、出会いは一瞬、興味の  
赴くまま、直感と衝動に突き動かされるまま  
に手に取る本の数々は、ワタシの一番の道楽  
これがだけは衝動買いもお許しあれ？（麻）



## 自分の上から目線、ふり...。反省しています。

日 曜の朝、私はまぶたを赤く腫らして出勤した。店のみんなにどうしたのか聞かれるのは、言うまでもない。実は前の日の夜、食事した韓国料理店の店主とケンカして、帰りに泣いたのだ。初めて行くその店は、友達のお勧め。店に入ると、アットホームな雰囲気で、店主らしき女性も陽気に話しかけてくれる。

サムギョプサルやチャバチエなどを頼み、友達と一緒に時間を過ごしていた。そこへ、店主がやってきて「美味しいスープがあるから、だまされたと思って頬んでみてよ。」と言う。私たちは、思い切って頬んでみた。牛ホホ肉が入った、牛骨をじっくり煮込み、ダシを引き出したという、そのスープ。スープを一口飲んでみた。塩気は丁度良いのだけど、想像していたより「ダシ」が薄く感じる。そこに店主が来て「正直な感想を言って。」と言うので、私は何も考らず、「ダシがちょっと薄い気が...」コショウとごま油もきき過ぎていると思います。」と言ってしまった。その一言で、店主を怒らせ、その場の和やかな雰囲気も台無しにしてしまった。「私はここで30年やっている。ファーストフードばかり食べてる若者には味が分からない。」と店主。私は料理を作る仕事をしているのだ。私の何が分かるんだ、と怒りがこみ上昇した。その時は、私が料理をしてきた四年あまりを否定されたようでも、ただただ悔しかった。けど次の日の朝、店のみんなにその話を聞いて、気付いた。私も店主に対して同じことをしてしまったんだ。料理に向き合ってきた、美味しいものを作ってきたというプライドを傷つけてしまった。私の言い方も良くなかった。相手に意見を言うのは大事なことだけど、思いやりがなければ、伝わらない。これからは、ただ否定だけを投げるのはやめよう。そして、他人の意見に耳を傾け、謙虚を持てる人になりたいと思った。

季 節の中で春が一番嬉しいだ。春は無条件に心が落ち込むからだ。その次に嫌いなのが夏だ。嫌なことが起るのはたいてい夏だからだ。

「我が家の第2の食卓」と呼べる飲食店があった。家の近くで、仕事の運番終わりでも営業しているその店に、震災後からとはいっても何度も何度も度々通ったのだろう。私にとってそこはもはやただの食事場所ではなく、大切な友達に会える場所であり、自分自身の可能性をもどさまで広げてくれる、奇跡の様な店だった。「だった」と書いたのはつい先日、この店が諸事情により閉店してしまったからだ。

3月13日、現実と「真夏の夢」と書いたのはつい先日、この店が諸事情により閉店してしまったからだ。

飲食を志した時、私は広告業界でグラフィックデザイナーといふ仕事をしていた。結婚をして夫婦二人でそれからの生き方についてよく話し合った。この先今、仕事を続けていて独立したいのか? そうじゃないよね、じゃあ何がしたい? どんな生き方をしたい? その答えが2人共に勤めていた制作会社を辞め、飲食の道に入るということが決まった。飲食で独立するために。そんな想いで入ったこの業界。でも、店はいつかなくなる。リストアだつて永久にあるわけではない。わたしが近い将来開くことを夢見ている自分の店だつてそうだ。それでもやる。そう思えるのはそこに何かが残るからだ。私にとって奇跡であつたあの店も、今の私にどれだけの物を残していくのか。それでもやる。そう思えるのはそこに何かが残るからだ。

世の中のすべての事は、おそらく不安定な中で成り立っていて、いつ何がどう崩れてもおかしくない。でも、だとしたら成り立っている方が奇跡みたいなもので、だからこそ私はそれを大切にしていきたくなる。どうせいつかはなくなっちゃうのだから。物だつて人だつて、人だつて。夏の最初に「夏の匂い、色々思い出す。これだから夏は嫌なんだ。」という私のツイッター上のつぶやきに、友人が返信をしてきた。「でも、それだから夏はおもしろいんだ。」うん、そうだね。こんな思いをまたひとつ重ねて、一歩づつその先に進んでいくのだ。

「存」  
在つて面白い。人が何かを認識した時、その何かは初めてその人の中で存在を始める。

鳥マニアの友人からバードリスニングの手ほどきを受けてからの「耳が作り直されている」と感じた瞬間があった。それまでの私はヒヨドリが鳴こまうが四十雀が鳴こまうが「どこかに鳥がいる」としか思わなかつ



らりと晴れた青い空、ちりちりと肌を焼くような日差しの熱、アスファルトの焦げた匂い…その兆しはちらちらと見え隠れはしていたものの、まだかまだかと焦れていたら先日ついにセミが大合唱を始めた、夏の到来。財布と文庫本、タオルに包んだ水筒をカバンに詰め込む。遅ればせながら夏支度をしていた所に、手編みの綺麗な手提げカバンが届いた。縁あって知人のお母様に、好きな色の麻糸をお渡しして編んでもらったもの。それは群青ベースの麻糸で編まれており、持ち手と底部分が黒、そして、黒い底部分から本体の群青との間には、亜麻色の糸が差し色で一本細く編み込まれている。さ

らによくよく見ると、編まれた麻糸の群青はうっすらと深みを帯びたり、薄まつたりしている…しっかりと目詰まつた、美しいカバンだ。不思議である。一本の糸があっちへ潜ってこっちへ回つて…規則正しく編み込まれた様子はまるで糸同士が手を取り合つて、一編み一編み、意志をもつた麻糸がカバンを形成しているようだ。

一つ一つの編み目は至つて素朴な一編みである。特別な事は何もない、にもかかわらず、黒い糸、青い糸、亜麻色の糸…それぞれが同じビジョンを持って手を取りあうことで、大きな手持ちカバンとして此処にすくりと存在しているよう、に見える。明るい時間に散歩かサイクリングをして、コーヒーを飲みながら本を、小説を読むのだと張り切る。この夏は暑いだろうか…暑いんだろうな…そして暑さに茹だりながらも、夕方に食べるアイスクリームや、夕立、その後の少しだけ涼やかな空気、夜中の蛙の声なんかに、目を閉じて、ああ夏だな、と時の流れの中にいることをみじみ実感するのだ。と、持ち手を握りしめる。そんなことを思いながら床に寝転ぶ。ひやりとした床を伝つてまだ新しい麻糸の匂いがする。編み目には、作り手の確かな意志と遊び心と宇宙観のようなモノ、が宿っているんじゃなかろうか。

13

編み目

## 新トヨソノリュ

木目田 綾・選



世界大博物図鑑  
鳥類

荒俣宏

平凡社

た…いや、そもそも鳥が鳴いている事にすら気がついていなかつた。けれどひとつたび彼らの声に耳を傾けると、これが意外と難しくて耳は混乱をきたした。なんと雀の声すら、判別できなくなつてしまつたのだ。生活においての耳の使い方とほんの少し違つた、別の新しい聴き方、新しい認識の仕方を獲得する必要が私には

多分あつたせいだと思う。

荒俣宏が著したこの図鑑は、こうした「存在」について心搖さぶられる名著。なにしろ実在の鳥と、伝説上の（実在しなかつた）鳥の両方の記述がなされた、言つてみれば人類が認識した鳥の図鑑なのだ。こんな本を存在させた、荒俣センセイの



vol.26



『Q10』

出演: 佐藤 健, 前田敦子 (AKB48), 小野武彦, 莲佛美沙子

められるんだよ。」のことばとともに、彼のお母さんの味であるチカカレーが目の前に出される。帰る場所がある幸せ…私もすつと、両親にやつてもらつていたこと。当たり前すぎて忘れていたけど、家を出る前に思い出すことができ本当によかつた。

また別の先生は言つ。「本当に怖いのは、不幸そのものではなく、考えるのをやめてしまうことです。一番の敵は自分の中にあるのです。」そして、「家族や恋人を愛したようになって、たくさんの経験をしたからこそ、生まれなどばかりだ。

「どうせなんにをしても無駄なんだ」とやれることをやろう。綺麗に部屋を片付けて、笑顔でおかれり。って言つて、家族との関係を諒めている生徒に、校長先生が言つたことが、私はいまも忘れない。

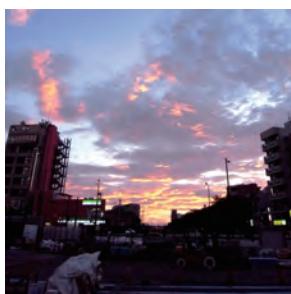
「どうせなんて、言っちゃ駄目だよ。やれることをやろう。綺麗に部屋を片付けて、笑顔でおかれり。って言つて、温かい食べ物出したあげる。そんなことだけが、それだけで人の心は繋ぎ止

成り立たせているもの全てを愛せよ。今は見えなくても、未来を信じる。」そうすれば、いつに世界を愛せよ。愛する人を目の前に形となつて現れる。



こんな仕事を8年もしてきましたが、なかなか世の中の催し物に足を運んだりできないものなんだよなあと、つくづくそう思います(苦笑)。

そんな先日の月イチ連休、こんな機会もなかなかないよと、思い立つて脱原発の大きなパレードに参加してきました。ま、でも自分自身なにか声高に叫ぶでもなく、パレードの人混みの中、単にひとりの意志ある個人として都心の大通りをうきうき歩く(笑)。街へ出る、適切な大きさの声で話す、誰かとほんのりココロを合わせる。暑い暑い夏の日差しの中、それはそれで本当に清々しく、時々は街にだって出かけなくちゃなとつくづく実感(お)



■ 夏のランチは定番が熱い!  
夏休みの特別企画!  
期間限定スペシャルメニュー、今年もはじまっておりますよ! 来すは

編集後記

先月号は、なんと編集後記を書き忘れるという失態をしてしまったワタクシ。それを夏のせいにするわけにもいかず、歳のせいにするわけにもいかず、ねえ?(苦笑)(お)

■ 8月はお盆休み、いたします。  
今月はお盆休みということで、三鷹の夏の風物詩、阿波踊り明けに少し長めのお休みをいただきます。みなさんには、迷惑をおかけしますが何卒よろしくお願いします。

8月20日(月)～23日(木)

■ お盆休み

news & information  
リトル  
ニュース  
Little Star Restaurant



年明けにもお出しした「チキンカツカレー」。インド直輸入スパイスがベースの当店名物チキンカレーに、揚げたてあつあつのチキンカツ! たっぷりのルーでがつりスタミナをつけていきましょう!

そして夏のスペシャルハンバーグは、トマトまるごとひとつをスライスして焼いたものをハンバーグの上にえいやっ! とのつけた「フレッシュマトのハンバーグ」。夏らしくさわやかな酸味がうれしい、栄養も満点のハンバーグです。夏バテ防止にもぜひ!



Little Star Restaurant  
リトルスター・レストラン / Mitaka, Tokyo

東京都三鷹市下連雀3-33-6 三京ユニオンビル3F

tel 0422-45-3331 (ご予約はお気軽にどうぞ)

holiday 毎週月曜日+不定休



ランチタイム 11:30～14:30  
(土日祝は12:00～15:00)

定番のチキンカレー定食とハンバーグ定食、さらに日替わり定食はホームページの毎日の更新でチェック!



ティータイム 14:30～18:30  
(土日祝は15:00～18:00)

スイーツに軽食、ドリンク各種。のんびりまったり読書にお仕事、おしゃべりもイイネ。FreeSpotのサービスはこの時間帯でどうぞ。



デナータイム 18:00～24:00  
(日祝は～23:00)

お食事にお酒、お一人からカップル・ご夫婦・お友達に同僚... おいしいごはんをたべながら楽しい時間をお過ご下さい。なおこのお時間の喫茶のみのご利用はご遠慮いただいております。ご了承下さい。

PCでも携帯でも▶▶▶ <http://www.little-star.ws/>



「毎月新刊『ごはん』置いていたいってよ。」  
三鷹駅南口中央通りの「古書上々堂」さん「まほろば珈琲」さん、さくら通りの「三鷹の森書店」さん、吉祥寺通りジブリ美術館向かい「風のすみか」さん、連雀通り・南浦交差点近くの「こいけ菓子店」さん、人見街道沿い「あきゅらいず美養品 森の食堂」さん、吉祥寺は「パウスシアター」さん  
にこの小さな新聞を置いていただいております。

